

伊方発電所 地震動評価 海洋プレート内地震 (コメント回答)

コメント概要	p 1
1. これまでの検討	p 2
2. 敷地周辺に想定される最大規模	p19
2.1 総論	p19
2.2 各論	p21
①世界の海洋プレート内地震	p21
②スケーリング則	p41
③フィリピン海プレートの厚さから	p44
④太平洋プレートとの対比から	p51
⑤1911年奄美大島近海の地震	p58
3. 地震動評価結果	p75

平成26年3月12日

四国電力株式会社



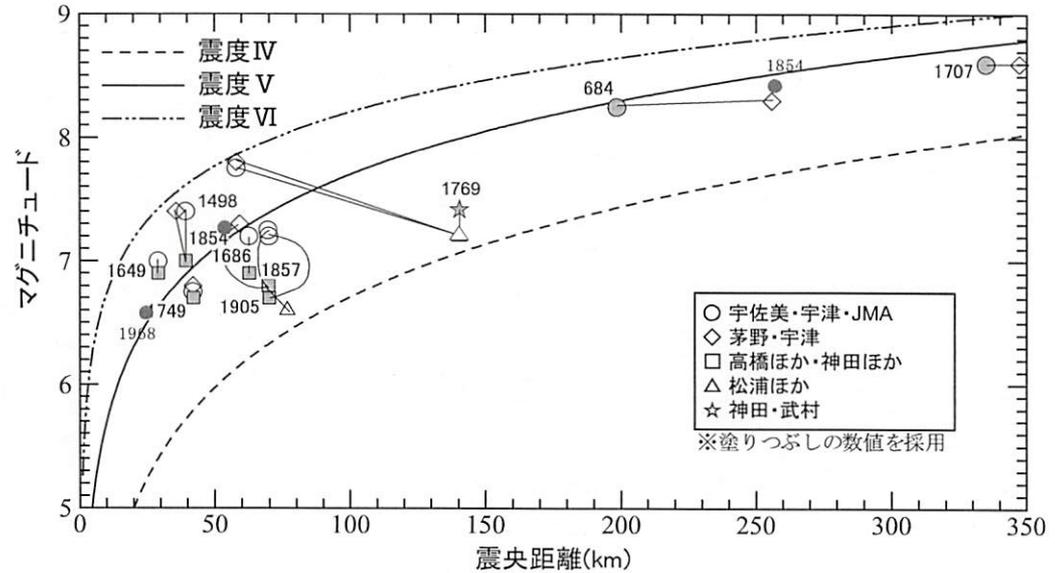
四国電力株式会社

伊方 340 甲第A

敷地で震度5以上をもたらした地震の選定

マグニチュードと震央距離から敷地の震度を推定する。
 カタログ間で地震諸元に相違があるものについては、

- ①海洋プレート内地震については、地震発生様式の特徴を考慮して諸元を設定した最新の検討結果[高橋ほか(2008), 神田ほか(2008)]を採用
- ②1769年の地震については、地震発生様式の特徴を考慮して諸元を設定した最新の検討結果[神田・武村(2013)]を採用
- ③それ以外の差異のある地震については、敷地への影響が大きい方を採用



地震カタログによる地震の諸元の比較

発生年	震央地名 ・地震名	宇佐美(2003)、宇津(1982)、JMA			茅野・宇津(2001)			高橋ほか(2008)・神田ほか(2008)			松浦ほか(2001, 2003, 2005)			神田・武村(2013)		
		緯度	経度	M	緯度	経度	M	緯度	経度	M	緯度	経度	M	緯度	経度	M
684	上佐その他 南海・東海・西海諸道	32 1/4 ~ 33 1/4°	133.5 ~ 135.0°	8 1/4	33°	135°	8.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1498	日向灘	33.0°	132 1/4°	7.0~7.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1649	安芸・伊予	33.7°	132.5°	7±1/4	33.7°	132.5°	7.0	33.7°	132.5°	6.9	-	-	-	-	-	-
1686	安芸・伊予	34.0°	132.6°	7.0~7.4	34.0°	132.6°	7.2	34.0°	132.6°	6.9	-	-	-	-	-	-
1707	宝永地震	33.2°	135.9°	8.6	33°	136°	8.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1749	伊予宇和島	33.2°	132.6°	6 3/4	33.2°	132.6°	6.8	33.2°	132.6°	6.7	-	-	-	-	-	-
1769	日向・豊後	33.0°	132.1°	7 3/4 ±1/4	33.0°	132.1°	7.8	-	-	-	32.25°	132.03°	7.2	32.25°	132.03°	7.4
1854	安政南海地震	33.0°	135.0°	8.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1854	伊予西部	33 1/4°	132.0°	7.3~7.5	33.3°	132.0°	7.4	33.25°	132.0°	7.0	-	-	-	-	-	-
1857	伊予・安芸	34.0°	132.75°	7 1/4 ±0.5	34.0°	132.5°	7.3	34.0°	132.75°	6.8	34.1°	132.7°	6.6	-	-	-
1905	芸予地震	34.1°	132.5°	7 1/4	34.1°	132.5°	7.2	34.1°	132.5°	6.7	-	-	-	-	-	-
1968	豊後水道	33° 18.00'	132° 23.00'	6.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

: 採用理由①
 : 採用理由②
 : 採用理由③
 : 複数カタログなし
 採用理由の丸数字は左上の箱書きに対応